

主催 日本情報処理検定協会

第XXX回（令和X年X月）  
情報処理技能検定試験（表計算）  
初段 問題

試験時間	30分
------	-----

1. <入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成しなさい。
2. 表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
3. <出力形式>に「合計」「平均」などがある場合は、関数により処理を行うこと。ただし「——」部分は空白とする。
4. 表には罫線を引くこと。（罫線の太線と細線は区別する。外枠は太線とする。）
5. 使用したテーブルの表の形式は問わない。
6. [ ] 内文字はシート名とする。テーブルや作成する表にシート名があるものは、それぞれこのシート名でシートを作成し、処理を行うこと。  
(例 <出力形式1> [前期]・[中期]・[後期]→前期、中期、後期の各シートを作成し、それぞれ指示された表を作成する。)
7. 作成したデータは事前に準備したファイル（初段・受験番号・名前）に上書き保存する。  
(例：初段101日検太郎)

## 問 題

<入力データ> (各48件) ※テキストデータはSPS\_sample フォルダ内のデータを使用する。

[前期]

月	CO	発注数	完成数
1月	101	331	308
2月	101	329	300
3月	101	323	293
4月	101	341	331
1月	102	366	343
:	:	:	:

[中期]

月	CO	発注数	完成数
5月	101	288	268
6月	101	300	265
7月	101	275	265
8月	101	289	274
5月	102	328	315
:	:	:	:

[後期]

月	CO	発注数	完成数
9月	101	302	288
10月	101	291	283
11月	101	305	287
12月	101	308	293
9月	102	360	339
:	:	:	:

4月	303	351	333
1月	304	342	327
2月	304	329	340
3月	304	328	338
4月	304	367	303

8月	303	367	312
5月	304	380	356
6月	304	394	344
7月	304	409	348
8月	304	338	377

12月	303	343	298
9月	304	336	320
10月	304	330	332
11月	304	345	315
12月	304	334	312

<発注先テーブル> [テーブル]

発CO	発注先名	コード	乗率
1	木村製作	K	3.7%
2	SK精機	S	3.4%
3	長尾工業	N	3.2%
4	松山精工	M	3.9%

<分類テーブル> [テーブル]

CO	分類名	加工単価
100番台	ねじ	124
200番台	ボルト	138
300番台	ナット	149

※発COはCOの1の位とする。

<処理条件>

- <入力データ> (テキストデータ、日本語シフトJIS、CSV形式)、<発注先テーブル>、<分類テーブル>を使用し、<出力形式1>のような表をそれぞれのシートに作成。

<出力形式1> [前期]・[中期]・[後期]

月	CO	製品名	発注先名	発注数	完成数	加工賃	補助金	完成率
( 途 中 省 略 )								
—	合計	—	—					—

- 製品名は、コード・分類名の順に関数または演算子を使用して結合。(例 Kねじ)
- 発注先名は<発注先テーブル>を表検索。
- 加工賃=加工単価×完成数

補助金=加工賃×乗率 (10位未満四捨五入)

完成率= $\frac{\text{完成数}}{\text{発注数}}$  (%の小数第1位未満切り上げ)

- <出力形式1>を基に、<出力形式2>のような表を作成。

<出力形式2> [集計]

加工賃集計表

分類名	前期	中期	後期	年間	構成比率
ねじ					
ボルト					
ナット					

- 前期・中期・後期は、基表の加工賃を集計。
- 年間は、全期を合計。
- 構成比率= $\frac{\text{年間}}{\text{年間の合計}}$  (%の小数第1位未満四捨五入の表示)

3. <出力形式1>を基に、<出力形式3>のような表を作成。

<出力形式3> [集計]

加工賃支払額計算表

発注先名	前期				中期				後期				加工報奨金	特別報奨金	支払額
	発注数	完成数	加工賃	補助金	発注数	完成数	加工賃	補助金	発注数	完成数	加工賃	補助金			
( 途中省略 )															
合計															

1) 各発注数・完成数・加工賃・補助金は、基表の同項目の値を集計。

2) 加工報奨金 =  $\frac{\text{全期の加工賃の合算} \times 5.7\% \times \text{全期の完成数の合算}}{\text{全期の発注数の合算}}$  (10位未満切り上げ)

3) 特別報奨金は<特別報奨金の計算式>を参照し求める。

<特別報奨金の計算式>

条件	特別報奨金
全期の加工賃の合算 ≥ 全期の加工賃の平均の合算	50,000
それ以外	0

4) 支払額 = 全期の加工賃 + 全期の補助金 + 加工報奨金 + 特別報奨金

5) 支払額の降順に並べ替える。

4. <出力形式3>を基にグラフを[集計]シートに作成。

1) グラフの種類は、発注先名別の加工報奨金を折れ線、支払額を縦棒にした複合グラフ。

2) 配置、グラフタイトル、凡例は以下のとおりにする。

